

7月21日の大雨に関する対応（第4報）

平成21年7月24日

18:00 現在

国土地理院

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 大雨の状況

山陰沖から近畿地方を通過して東海地方に伸びる梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化した。九州北部地方や中国、四国地方で局地的に激しい雨が降り、特に山口県では21日8時までの1時間雨量が80ミリを超える猛烈な雨を観測し、19日00時から22日06時までの雨量は山口県防府市で332ミリ、山口県山口市で294.5ミリなど所により300ミリを超える大雨となった。

2. 体制等

- 7月21日(火) 17時00分 注意体制
- 7月22日(水) 15時00分 第1回連絡会議を開催
- 7月23日(木) 15時30分 第2回連絡会議を開催

3. 主な活動状況

1) 会議への出席

7月22日 7月21日の大雨に係る政府調査団(団長:防災担当大臣)に地理調査部長が参加

19時30分 災害対策関係省庁連絡会議(第1回)に企画部長が出席

2) 現地調査の実施

7月22日 中国地方測量部から山口県防府市の被災現場の状況現地調査を実施(3名)

3) 国土地理院ホームページによる情報提供

(<http://www.gsi.go.jp/kohokocho/h21-7-ooame-index.html>)

7月22日 「平成21年(2009年)7月21日からの大雨関連ページ」を開設し、

- ・災害概況図を掲載
- ・電子国土情報集約マップを掲載

7月23日

- ・被災地の空中写真を掲載
- ・被災地周辺の正射写真を掲載

4) 出力図の情報提供

7月24日

- ・被災地周辺の正射写真(出力図:A1)を官邸、内閣府、国土交通省本省・中国地方整備局、防府市へ提供

以上